

加賀茶研究会の取組み

株式会社丸八製茶場 代表取締役 丸谷 誠慶*

■研究会の背景

加賀・金沢には、茶の茎を焙煎した「棒茶」を普段のお茶として飲む文化がある。お茶といえば煎茶や抹茶、玉露が有名であるが、棒茶を飲む文化は全国的には珍しい。弊社は工業試験場と共同で、棒茶の香気成分の研究に着手してきたが、科学的な評価は石川県全体の茶業の発展に役立つと考え、平成24年に県内製茶店(9社)、打越製茶農業協同組合、研究機関(工業試験場、石川県立大学)、行政機関(いしかわ大学連携インキュベータ、石川県産業創出支援機構、中小機構 北陸本部)と共同で研究会を設立した。

■研究会の内容

研究会では、石川県内の製茶製品(棒茶、紅茶等)の知名度向上、ブランド力向上、品質向上、新商品開発の取組支援のため、研究推進、セミナー、勉強会などを行っている。

研究推進活動として、現在は棒茶の香味特性の解明を活発に進めている。これまでに、研究機関による成分分析や研究会メンバーによる官能評価を行い、棒茶の香味のレーダーチャート表示の開発などを行った(図1)。また、工業試験場の成分分析技術を活用し、各製茶店における棒茶の特長の把握と高品質化に役立っている。

さらに、お茶の研究者を招聘したセミナーや勉強会を開催している。これまでに、お茶の健康機能、香気成分、生産技術やお茶に関する地方自治体の取組などを学び、専門家との意見交換を行った。

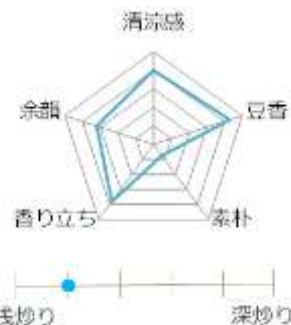


図1 棒茶の香味表示の一例

■研究会の特徴

これまでの6年間で38回の研究会を開催し、頻繁な意見交換を行っている(図2)。また、研究機関の研究報告会を頻繁に行うことで、製茶店の意見やニーズを取り入れた研究が実施されるように努めている。



図2 研究会の様子

■今後の展開

本研究会は、各製茶店の新商品開発、品質向上、ブランド力向上に貢献することが目的である。つまり、研究会とはその成果が見えにくいものであるが、会員相互の発展のための土台を作ることが重要と考えている。今後も、新しい発想を生む手助けをすることで、県内製茶業が発展するような研究会活動を目指し活動を続けていきたい。

* 代表取締役 Email: info@kagaboucha.co.jp

代表者名: 代表取締役 丸谷 誠慶

住 所: 〒922-0331 加賀市動橋町夕1番8

TEL 0761-74-1557 FAX 0761-75-3429